

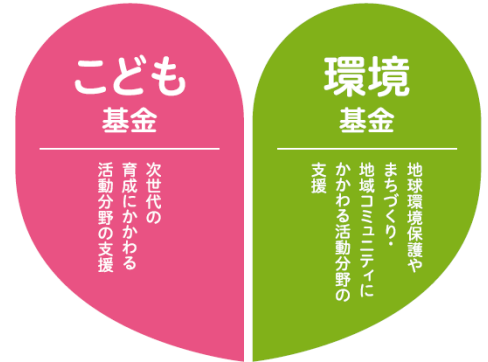
2023年積水ハウスマッチングプログラム 選定後講評

積水ハウスマッチングプログラムの会
理事長 大崎 彰

「積水ハウスマッチングプログラム」は、積水ハウスグループにおけるESG経営に基づく社会貢献活動の一環として、グループ会社の役員及び従業員(2023年1月現在、約8100名)からの寄付金と、その同額(積水ハウス株式会社からの拠出金)を合わせたファンドを原資として、「こども基金」「環境基金」の2つのテーマについての活動を助成するプログラムです。

このたび、全国から123件の応募をいただき、ありがとうございました。選定委員である従業員代表の理事一同、当プログラムへの関心と期待の高さに慎重に選考を行いました。

以下、2023年助成申請の概況、選考プロセスや選考結果を報告します。



■助成申請の概況

2022年度より、「プロジェクト助成」のほか、こども・環境基金のテーマに関わる地域・社会の課題に取り組む団体を対象とした「団体助成」を新たに設け、積水ハウスグループの事業所または従業員からの推薦を必須とし、積水ハウスとの連携・協働の実績や可能性を重視して選考することとしました。2023年度も、継続して同じ方針で募集、審査を進めてきました。申請は、基金の種類別では、こども基金73件、環境基金50件。助成の種類別では、プロジェクト助成62件、団体助成61件となっています。

■選考プロセスと審査のポイント

一次審査は、理事長、社外アドバイザー、事務局の三者にて基礎的要件の整理作業を行い、書類審査を実施。審議の結果、100件(こども基金58件、環境基金42件)が一次審査を通過しました。

その後、会員アンケート、団体への面談・ヒアリング等を行い、積水ハウスマッチングプログラム理事会による最終選考(二次審査)を実施。その結果、2023年度助成は、プロジェクト助成(助成金額35万円~100万円)に48件(こども基金29件、環境基金19件)、団体助成(30万円)に46件(こども基金28件、環境基金18件)の助成を決定いたしました。

一次審査通過:100件		最終結果:94件	
こども:58件	プロジェクト:52件	こども:57件	プロジェクト:48件
環境:42件	団体:48件	環境:37件	団体:46件

■全体講評

「団体助成」の新設、事業所・従業員の推薦必須、という新しい仕組みの導入から2年度目となった今回、既に連携・協働が進んでいる団体からの申請や、従業員の熱心な推薦による申請が数多く見られ、又一方で、新規の申請団体もあり、いずれの団体も規模の大小にかかわらず地域で必要とされる事業を推進されている中、選考には苦慮しました。

そうした中、選定されたプロジェクト・団体は、特にプロジェクト助成では課題の解決に向けて直接支援となるプロジェクトが多く、積水ハウスグループとの連携を意識した企画も多数あること、活動地域は国内では全国に渡っており、アジア・アフリカ等の海外で活動を行うプロジェクト・団体も数団体あることから、今後ますます各地域での多種・多様な連携事例が増えていくことが期待されます。

「こども」「環境」に関するさまざまな社会課題に対して、当社との協働によるコレクティブ・インパクトの創出にチャレンジしていただきたいと思います。



以上